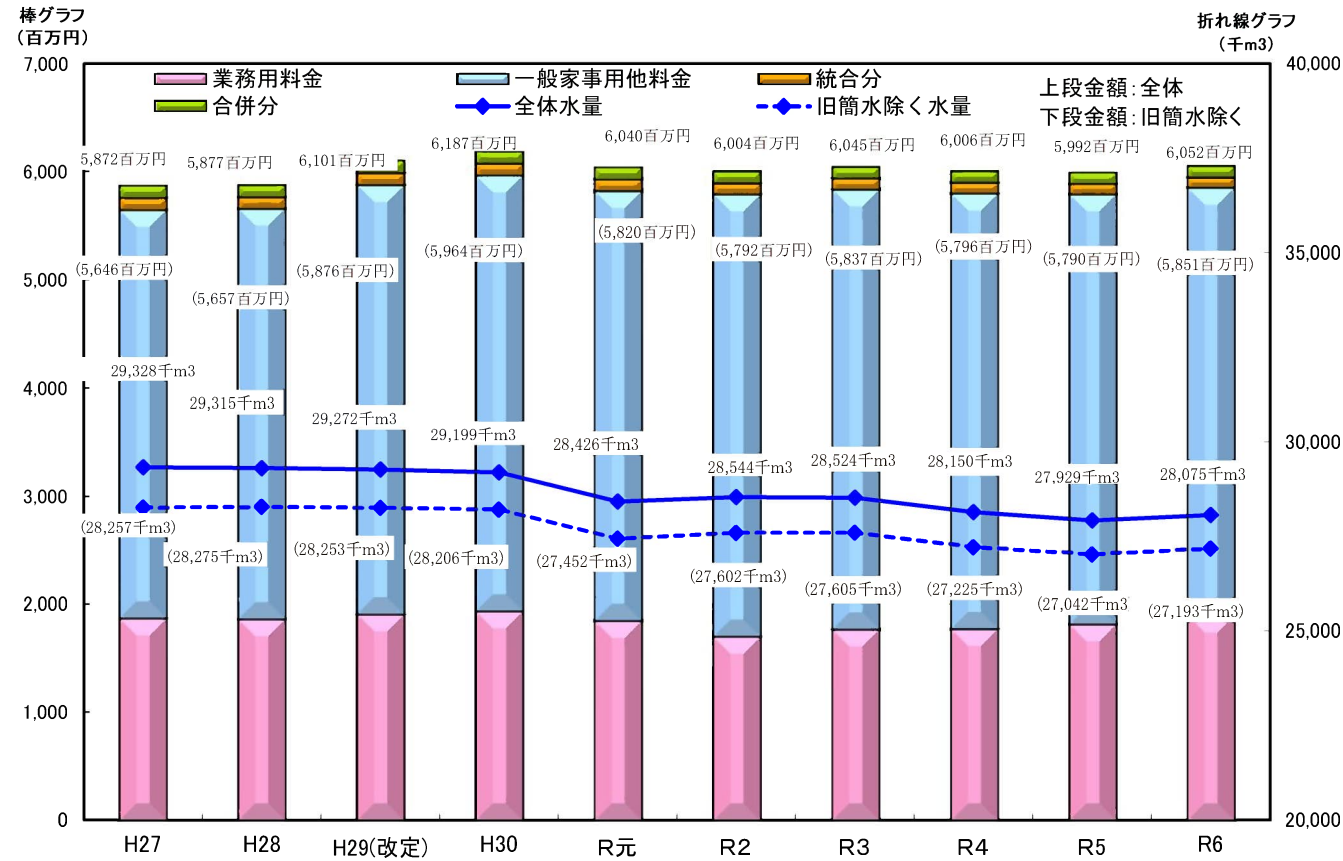


水道料金収入の推移

令和6年度の水道使用水量は前年度から約14万6千m³の増(0.5%)、水道料金収入は前年度から約6,000万円の増(1.0%)となった。

これは、人口減少等により一般家事用が減少した一方で、大口事業者等業務用の水量が増加したことが主な要因である。一般家事用の減少は、人口減少に伴い今後も緩やかに進むことが予想されるとともに、経済動向の影響が大きい業務用の動向には注意が必要である。



水道料金推移 (税抜き) 単位: 百万円

年 度	水 道 事 業							旧簡易水道事業			総 合 計	
	一般家事用他	対前年増減	業務用	対前年増減	合計(A)	対前年増減	水 量 (千m ³)	統合分 (b1) 戸鬼無里岡	合併分 (b2) 信州新町条	水 量 (千m ³)	料 金 (A)+(b1)+(b2)	対前年増減
H27	3,780	1	1,866	△ 166	5,646	△ 165	28,257	114	112	1,071	5,872	△ 171
H28	3,798	18	1,859	△ 7	5,657	11	28,275	109	111	1,040	5,877	5
H29(改定)	3,971	173	1,905	46	5,876	219	28,253	111	114	1,019	6,101	224
H30	4,032	61	1,932	27	5,964	88	28,206	110	113	993	6,187	86
R元	3,977	△ 55	1,843	△ 89	5,820	△ 144	27,452	108	112	974	6,040	△ 147
R2	4,094	117	1,698	△ 145	5,792	△ 28	27,602	103	109	942	6,004	△ 36
R3	4,071	△ 23	1,766	68	5,837	45	27,605	102	106	919	6,045	41
R4	4,027	△ 44	1,769	3	5,796	△ 41	27,225	103	107	925	6,006	△ 39
R5	3,977	△ 50	1,813	44	5,790	△ 6	27,042	99	103	887	5,992	△ 14
R6	3,959	△ 18	1,892	79	5,851	61	27,193	98	103	882	6,052	60

※ (改定) は、料金を改定した年度

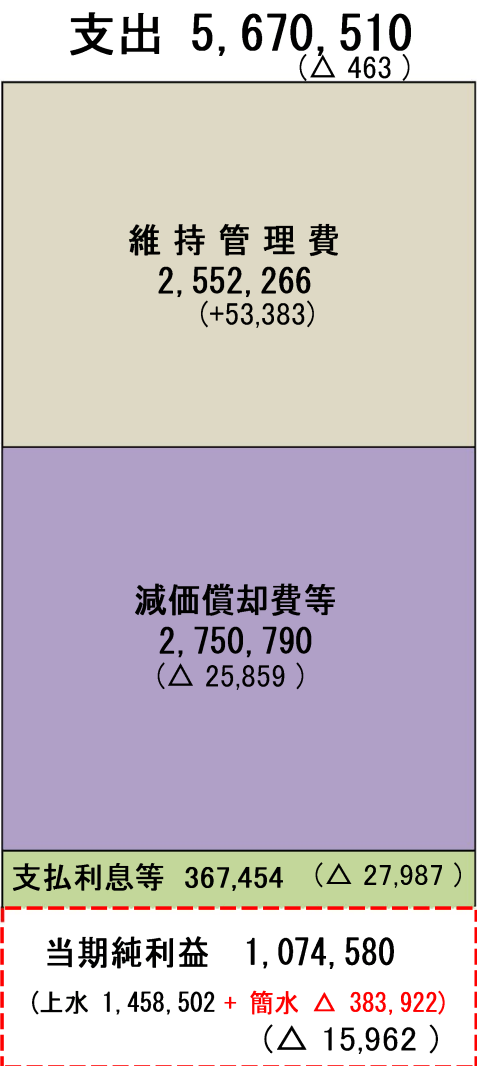
令和6年度 水道事業会計決算の概要

(単位 千円)
(かっこ内は前年度からの増減)

収益的収入及び支出
(税抜き)



- 特別利益 0 (△ 24,813)
- その他収益 133,266 (△ 13,671)
- ・ 加入金 65,154
 - ・ 手数料等 34,138
 - ・ 賃借料等 19,781
 - ・ 受取利息等 14,193



(減債積立金の使用による計上)

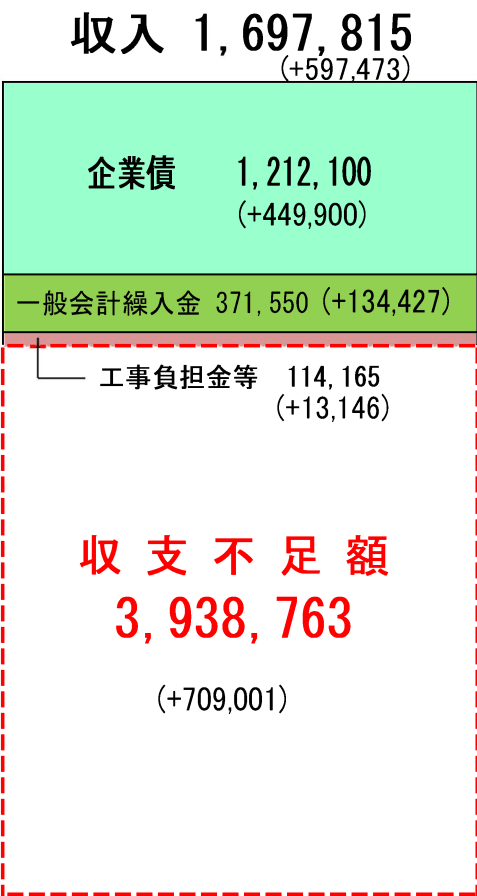
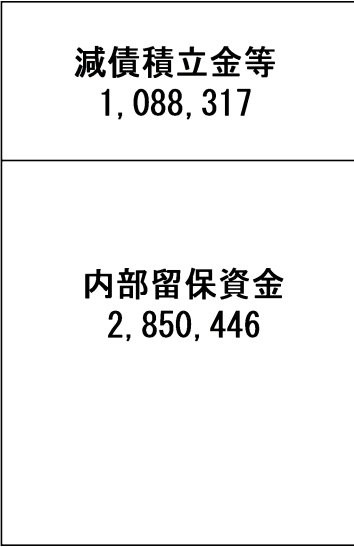
その他未処分利益剰余金変動額
759,542

純利益等の処分

① 当期純利益	
・ 減債積立金	739,580
・ 建設改良積立金	335,000
	1,074,580
② その他未処分利益剰余金変動額	
・ 資本金への組入れ	759,542
※減債積立金の使用により未処分利益剰余金に計上したもの	

資本的収入及び支出
(税込み)

補 填 財 源



補填後の内部留保資金残額 11,297,474
(△ 221,711)

(損益勘定留保資金 7,849,474 + 建設改良積立金 3,448,000)

損益勘定留保資金の内訳

過年度分	5,551,740
現年度分	2,297,734

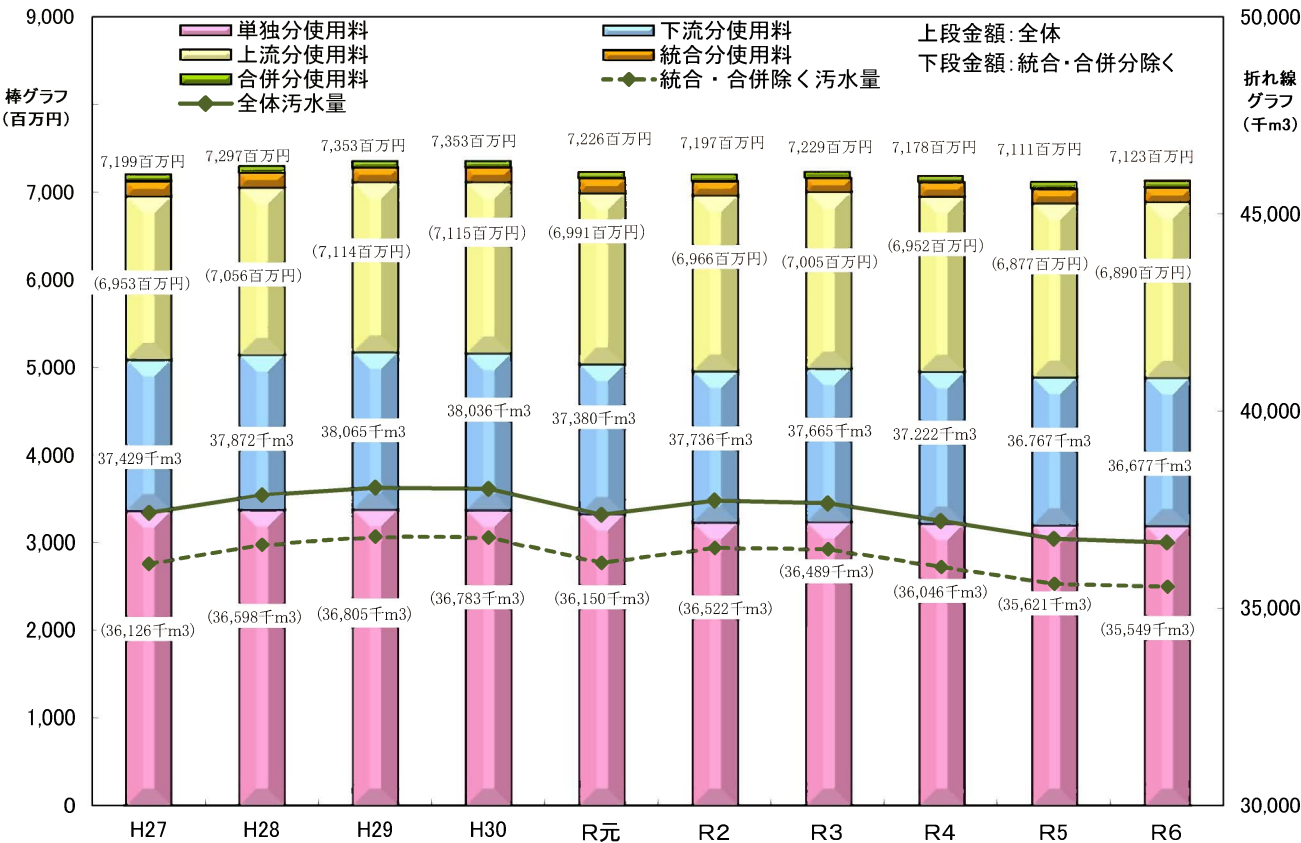
建設改良積立金の内訳

～ 4 年度	3,117,000
5 年度	331,000

下水道使用料収入の推移

令和6年度の汚水量は前年度から約9万³m³の減(△0.2%)、下水道使用料収入は前年度から約1,200万円の増(0.2%)となった。

これは、一定の水量までは基本料金に含まれ、その後は使用量に応じて料金単価が上昇する逓増制によるもので、全体の汚水量が減少しても、大口使用者等、業務用の汚水量が増加したことが影響している。今後も、人口減少による一般家庭用の汚水量の減少が予想されるため、市内事業者の景気動向や新たな産業用地開発等による業務用の需要拡大が重要となる。



下水道使用料推移 (税抜き)

単位: 百万円

年 度	公共下水道			合 計 (A)	対前年 増 減	汚水量 (千m ³)	統 合 分 (b1) 農 集 排 小 規 模 戸 隠 里	合 併 分 (b2) 信州新町 中 条	汚水量 (千m ³)	総 合 計	
	単 独	流域下流	流域上流							使 用 料 (A)+(b1)+(b2)	対前年 増 減
H27	3,362	1,728	1,863	6,953	49	36,126	173	73	1,303	7,199	51
H28	3,375	1,770	1,911	7,056	103	36,598	167	74	1,274	7,297	98
H29	3,378	1,796	1,940	7,114	58	36,805	166	73	1,260	7,353	56
H30	3,371	1,791	1,953	7,115	1	36,783	166	72	1,253	7,353	0
R元	3,330	1,707	1,954	6,991	△ 124	36,150	164	71	1,230	7,226	△ 127
R2	3,231	1,728	2,007	6,966	△ 25	36,522	161	70	1,214	7,197	△ 29
R3	3,236	1,756	2,013	7,005	39	36,489	156	68	1,176	7,229	32
R4	3,219	1,732	2,001	6,952	△ 53	36,046	157	69	1,176	7,178	△ 51
R5	3,201	1,688	1,988	6,877	△ 75	35,621	162	72	1,146	7,111	△ 67
R6	3,192	1,693	2,005	6,890	13	35,549	160	73	1,128	7,123	12

※ 各処理区の内訳は下記のとおり

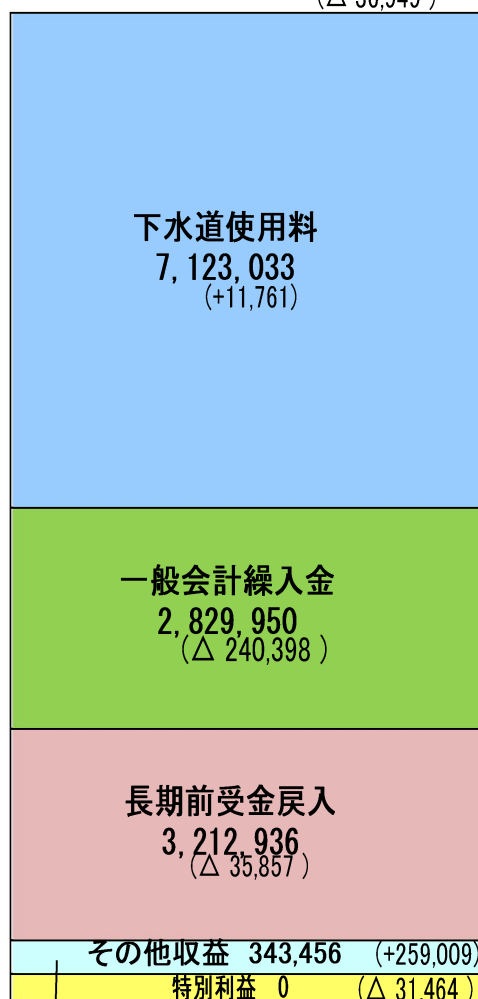
単独	流域下流	流域上流	統合分	合併分
・単独公共 ・長野特環単独	・公共流域下流区 ・長野特環下流	・公共流域上流区	・特環(戸隠・鬼無里) ・農集(長野・戸隠・鬼無里) ・小規模(豊野)・戸別(戸隠) ・特定浄化槽(長野・戸隠・鬼無里・大岡)	・特環(信州新町・中条) ・農集(信州新町) ・特定浄化槽(信州新町・中条)

令和6年度 下水道事業会計決算の概要

(単位 千円)
(カッコ内は前年度からの増減)

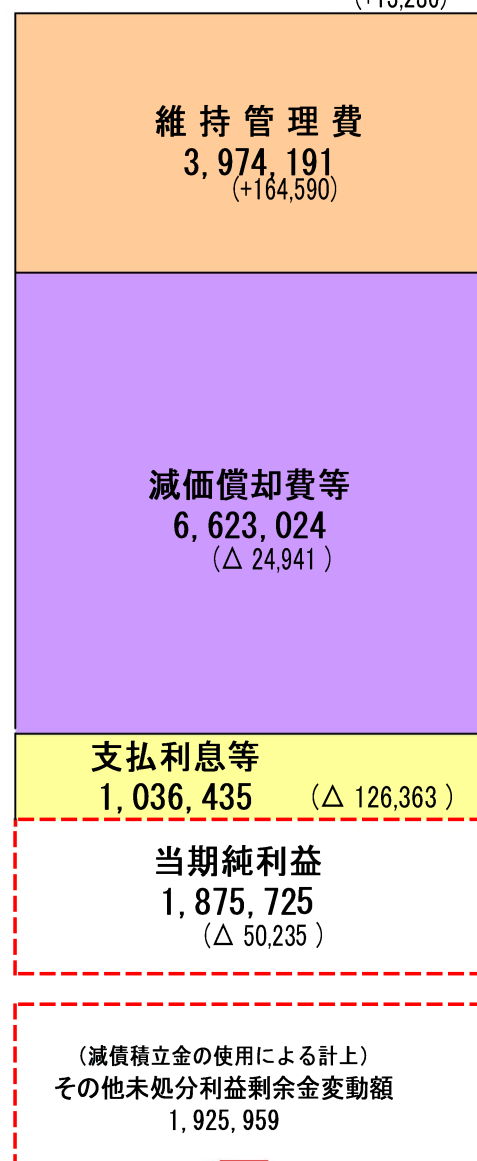
収益的収入及び支出 (税抜き)

収入 13,509,375
(△ 36,949)



・手数料等 16,290
・流域下水道負担金の還付等 327,166

支出 11,633,650
(+13,286)

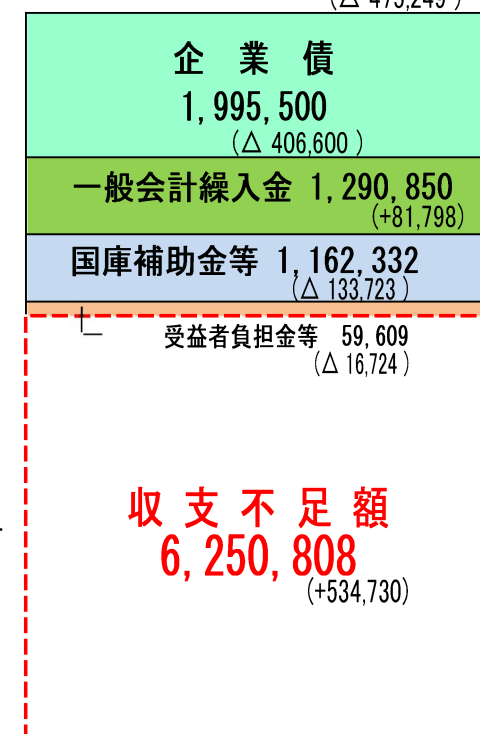


純利益等の処分

① 当期純利益	
・ 減債積立金	1,875,725
	1,875,725
② その他未処分利益剰余金変動額	
・ 資本金への組入れ	1,925,959
※減債積立金の使用により未処分利益剰余金に計上したもの。	

資本的収入及び支出 (税込み)

収入 4,508,291
(△ 475,249)



収 支 不 足 額
6,250,808
(+534,730)

補 填 財 源

減債積立金等
2,118,039

内部留保資金
4,132,769

補填後の内部留保資金残額

1,724,451
(△ 721,587)

損益勘定留保資金の内訳

過年度分	0
現年度分	1,724,451